



# 「講演会」

主催・福祉と共生社会を考える会

講師 野沢和弘さん

(毎日新聞社会部副部長・全日本手をつなぐ育成会理事・千葉県障害者差別をなくすための研究会座長)

# 福祉がかかわる、時代をうごかす

この<sup>※</sup>条例は障害者のためのものだが、決して障害者のためだけの条例ではない。同時代に生きる人々が、それぞれの違いを認めあい、多様性を楽しむのがこれからの成熟した社会のあり方だと私は思う。

どんな人間もひとりでは生きられない。ひとりで生きていくつもりでも、自分が知らないところで同時代に生きる人々とながら、影響し合い、絶えず社会の中で化学反応を起こして、少しずつ時代は動いていくのだと思う。

※註 2006年10月に成立した、障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例

|| 『条例のある街』野沢和弘著：より抜粋||

## ■著書(共著を含む)

「条例のある街」(ぶどう社)、  
「わかりやすさの本質」(生活人新書/NHK出版)。  
「なぜ人は虐待するのか」(Sプランニング)  
「プレーメンの挑戦」(ぎょうせい)、  
「発達障害とメディア」(現代人文社)  
「シカゴの夜から六本木の朝まで」「親」(Sプランニング)  
「もう施設には帰らない」「もう施設には帰らない2」  
「殺さないで～児童虐待という犯罪」(いずれも中央法規)  
「薬害エイズ～奪われた未来」  
「福祉を食う～虐待される障害者たち」(毎日新聞社)など。

◆日時／2008年7月5日(土) 13:30～16:30

◆会場／西区民センター 3階ホール

札幌市西区琴似2条7丁目

◆参加費／800円(資料代含む)

※チケットをお持ちの方から順に入場していただきます。

◆後援／社会福祉法人札幌この実会

札幌市手をつなぐ育成会

P & A北海道

共に生き・共に働く事業所ネットワーク

◆問合せ／福祉と共生社会を考える会

「共働サービスタねや」気付担当/石澤

TEL: 011-614-1871

## ■野沢和弘氏プロフィール

1959年10月 静岡県熱海市生まれ。  
1983年 3月 早稲田大学法学部卒業。  
1983年 4月 毎日新聞社入社。  
津支局へ赴任。  
1986年 4月 中部本社報道部(名古屋)  
1992年 4月 東京本社社会部。厚生省担当、  
薬害エイズ取材班、  
児童者虐待取材班キャップ  
など歴任。  
2002年 4月 同科学環境部副部長  
2004年 4月 同社会部副部長  
2007年 5月～ 同夕刊編集部長